
2023年度 筑後地区協会理事会議案

(決議事項)

- 第1号議案 2022年度事業活動報告
- 第2号議案 2022年度決算報告及び監査報告
- 第3号議案 2023年度事業活動計画(案)
- 第4号議案 2023年度収支予算(案)
- 第5号議案 2023年度筑後地区役員選任(案)

開催日時 2023年7月14日(金) 16:00~17:00

開催場所 萃香園ホテル

 公益財団法人日本電信電話ユーザ協会

筑後地区協会

目 次

[第1号議案]	2022年度事業活動報告	P.1 ~ 6
[第2号議案]	2022年度決算報告及び監査報告	P.7 ~ 8
[第3号議案]	2023年度事業活動計画（案）	P.9 ~ 12
[第4号議案]	2023年度収支予算（案）	P.13
[第5号議案]	2023年度役員選任について（案）	P.14

2022年度事業活動報告

日本電信電話ユーザ協会では、公益事業推進の観点からテレコミュニケーション教育事業（電話対応コンクール、企業電話対応コンテスト、電話対応技能検定等）並びに、ICT活用推進事業（各種ICTセミナー、ホームページ、テレコム・フォーラム誌等による情報提供）を通じて、会員企業はもとより普く広く中小企業等の人財育成を支援するとともに、ICTを利用したデジタルトランスフォーメーション（DX）等の導入推進に寄与することで、地域社会の振興、発展に貢献することを目的に事業を展開してきました。

具体的な実施状況は以下のとおりです。

1. テレコミュニケーション教育事業について

- (1) 2022電話対応コンクールでは「聴く力、伝える力を磨き対応力アップ」をテーマに、外出中の担当者を指名する電話受付と外出中の担当者からの問い合わせ対応の2つの電話対応を行い、「お客様に満足いただける対応」および「社内の人との的確な対応」を目指す内容でした。

参加者からは業務に直結した内容で「業務に生かせることができた」、「日常の電話対応をモデルとしたのは良かった。社内のスケジュール、イベントを把握したうえでお客様と対応するのが当たり前のことなので良いテーマであった」等の声をいただきました。

<電話対応コンクールの開催状況>

① 福岡二次予選会（福岡地区、筑後地区、北九州地区合同）

一次予選録音審査に参加した41事業所225名（筑後地区3事業所6名）から選抜された50名（筑後地区2名）により、電話対応コンクール福岡二次予選会を開催し、審査の結果、(株)三井住友銀行「外間梨実さん」が優勝。以下の入賞者25名を福岡県大会へ選出しました。

(敬称略)

順位	氏名	事業所名
優勝	外間 梨実	株式会社三井住友銀行
準優勝	野口 環	リコージャパン株式会社
第3位	河野 史	NTTビジネスソリューションズ(株)九州サポートビジネスフロント
優秀賞	富永 梨恵	株式会社三井住友銀行
	末村 美里	三井住友海上火災保険株式会社 福岡第三保険金お支払センター
	伊東 泉	(株)NTTフィールドテクノ第六カスタマフロントカスタマサポートセンタ
	津留崎 潤子	株式会社ジャパネットコミュニケーションズ
	浦崎 静	株式会社オリエントコーポレーション
	後藤 拓真	NTTビジネスソリューションズ株式会社九州サポートビジネスフロント
	濱名 香織	SBI 損害保険株式会社
	田中 由美子	東京海上日動火災保険株式会社

市丸 真由美	株式会社ジャパネットコミュニケーションズ
古賀 愛	NTTビジネスソリューションズ(株)九州サポートビジネスフロント
本徳 加奈子	株式会社久原本家
山口 真由	株式会社ワイズ・ヒューマン
松山 彩香	株式会社Open
水城 智美	株式会社三井住友銀行
白石 徹	株式会社ワイズ・ヒューマン
大崎 安里沙	株式会社ジャパネットコミュニケーションズ
下寺 薫	株式会社三井住友銀行
安藤 道人	(株)NTTフィールドテクノ 第六カスタマフロントカスタマサポートセンタ
濱田 朋子	SBI 損害保険株式会社
若槻 雄太	SBI 損害保険株式会社
牟田口 紀子	損害保険ジャパン株式会社飯塚保険金サービス課
高村 翁子	(株)NTTマーケティングアクト ProCX 光サービスセンタ北九州

② 福岡県大会

2022年10月25日(火)、福岡県大会を開催し、福岡二次予選で選ばれた25名が全国大会代表2名枠を目指し競いました。福岡地区代表「濱名香織さん」(SBI 損害保険(株))が優勝、福岡地区代表「松山 彩香さん」(株Open)が準優勝に輝き、全国大会出場を果たしました。

③ 全国大会

2022年11月18日(金)、3年ぶりの集合方式による第61回全国大会が山口市で開催され、全国の競技参加者6,620名から選ばれた57名が、電話対応日本一を目指し、競いました。福岡県代表として出場した「濱名 香織さん」、「松山 彩香さん」は惜しくも入賞は叶いませんでしたが、真摯に取り組み素晴らしい対応を披露されました。

(2) 企業電話対応コンテスト

企業の日常のビジネス電話対応内容を録音し、審査・分析・フィードバックするため、客観的な評価・アドバイスを基に、自社の弱みが明確になり、より具体的に育成・指導ができると好評をいただいています。

2022年度は全国336事業所、福岡県からは3事業所(株)サニクリーン九州3事業所)が参加され、審査結果を基に自社の更なるCS向上に取り組んでいただきました。

(3) 研修会・セミナーの実施

電話対応等の研修については、一部集合形式で実施したものの、昨年度に引き続き「オンライン研修(双方向型)」や「インターネットセミナー」等、ニューノーマル時代にあった研修スタイルを提供しました。

距離に関わらず、誰でもどこからでも受講できることから、受講者及び参加企業にご好評をいただき、参加者数は昨年を上回りました。今後も引き続き、研修コンテンツの充実とタイムリーに開催することで、人財育成支援を実施していくこととします。

実 施 研 修	実施月日	参加人員
ビジネスマナーアップセミナー (大牟田商工会議所共催) <集合方式>	2022. 4. 6	4 8
ビジネスマナーセミナー (筑後商工会議所共催) <集合方式>	2022. 4. 26	7
接遇対応セミナー(基礎編) (久留米商工会議所共催) <集合方式>	2022. 6. 9	3 4
ビジネスマナー研修 (大牟田商工会議所共催) <集合方式>	2022. 6. 30	2 6
接遇対応セミナー(応用編) (久留米商工会議所共催) <集合方式>	2022. 11. 15	2 2
電話対応チャレンジセミナー (他支部共催) <オンライン方式>	2022. 5. 25	1 4 6
電話対応コンクールフォローアップセミナー (支部主催) <オンライン方式>	2022. 6. 7~8	1 1 3
ビジネスマナー研修 (支部共催) <オンライン方式>	2023. 2. 21	2 0
ビジネス電話対応研修 (支部共催) <オンライン方式>	2023. 2. 21	2 6
クレーム対応研修(初級・上級コース) (支部主催) <オンライン方式>	2023. 2. 28	4 1
ビジネスメール研修 (支部主催) <オンライン方式>	2023. 3. 2	4 1

実 施 研 修	実施回数	参加人員
電話対応技能検定講座(3級)(支部共催)	6	4 6
電話対応技能検定講座(2級)(支部共催)	3	1 0
電話対応技能検定講座(1級)(支部共催)	1	6

(4) 電話対応技能検定(もしもし検定)

電話対応のエキスパートとして即戦力となり得るチームリーダーの育成を目指して、検定試験を実施し、福岡支部全体で延べ282名が受験、163名の方が電話対応技能資格を取得されました。

資格級	受験者数	合格者数
4級	188	113
3級	62	40
2級	17	4
1級	15	6
合計	282	163

2. ICT活用推進事業について

- (1) ICT活用推進事業については、本格化している「DX（デジタルトランスフォーメーション）」や「サイバーセキュリティ対策」等をテーマにオンラインセミナー（全国視聴可能）を開催するとともに、経営者の皆様を対象に、これからの事業経営のヒントとしていただくことを目的に各界の著名人による「経営セミナー」も実施しました。

<2022年度開催セミナー 抜粋>

テーマ	講師
「サイバー犯罪の現状と対策」	福岡県警察本部サイバー犯罪対策課
「第四の波（サイバー社会）に向けた国家戦略」	大前研一氏ビジネス・ブレクスル代表
「2022年度の補助金・助成金活用セミナー」	近畿産業局
「DXの活用、推進による課題解決について」	須藤 憲司氏 Kaizen Platform 代表
「ユークョー プレミアム ウィメンズ セッション」	山口真由氏 弁護士
「サイバー攻撃の脅威とセキュリティ対策の重要性とポイントについて」	大屋一氏(株)ブロードテック代表取締役
「サイバーセキュリティ対策講座」	警視庁サイバー犯罪対策課
「ロボット技術・ビッグデータを活用したデータサイエンスが創る未来の社会」	古田貴之氏 工学博士
「強い自分を創る逆転の発想～ 逆境こそベクトルを上へ伸ばすチャンス！～」	齋藤孝氏 明治大学文学部 教授
「デジタルトランスフォーメーション実現のためにこれだけは知っておこう！」	西脇資哲氏 日本マイクロソフト
「心で走る～マラソンリーダーからの提言～」	瀬古利彦氏 日本陸連理事
「ラグビー日本代表から学ぶ良いリーダーと組織の在り方」	廣瀬俊朗氏 元ラグビー日本代表
「DXがもたらす未来」	辻野晃一郎氏 元グーグル日本代表

- (2) ICTに関する情報発信については、ホームページ、テレコムフォーラム誌、メールマガジンを活用し、ICTを事業発展に役立てた事例を紹介する等、会員及び情報通信サービス利用者にお役立ていただける情報を発信しました。

3. 会員拡大

新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い経費削減、事業縮小等により、福岡支部全体の会員数は対前年比▲3.2%と全国同様（対前年比▲5.2%）の減少傾向にあります。筑後地区においても7会員の純減（対前年比▲3.1%）となりました。

今後も更に会員サービスの充実強化を行うとともに、テレコミュニケーション事業・ICT活用推進事業を柱に新規会員の拡大に取り組んでまいります。

地区協会	2022年度末 会員数	2022年度の増減			2021年度末 会員数
		入会数	退会数	純増数	
福岡地区	366	15	27	△12	378
筑後地区	217	4	11	△7	224
北九州地区	208	4	11	△7	215
計	791	23	49	△26	817

4. 協会活動の活性化

(1) NTTグループ各社との業務提携のもと、デジタルトランスフォーメーション（DX）等の推進を目指し、会員様向けに各種ツールを無償提供（期間限定）し、体験頂くとともに、ICTセミナー等を通じ、情報通信に関する会員事業所等の利便増進に向けた取組を行いました。

(2) 支部・地区協会の会員へのイベント案内や周知事項をテレコム・フォーラムとともに会員にリアルタイムに配付しました。

(3) ホームページ「福岡支部」による情報発信

URL <http://www.pi.jtua.or.jp/fukuoka/>

会員サービスメニューや県内で開催するセミナー・研修会、電話対応コンクール等の計画や結果のお知らせ等、タイムリーな情報提供を行いました。

福岡支部ホームページ アクセス数	47,468 PV (対前年比131.2%)
---------------------	---------------------------

また、本部ホームページにおいては、全国各地で開催される研修等のイベント情報を検索できます。

(4) 会員交流を目的とした「新春トップセミナー」は、感染症予防対策を行い、落語家による特別講演、落語の二部構成で参加者の皆様に新春に相応しいお笑いをお届けしました。

開催月日	出演者	場所	参加者数
1月20日	落語家「桂宮治」	リーガロイヤル小倉	166 (対前年比178.4%)
1月26日	落語家「三遊亭圓歌」	ホテルクラ福岡	144 (対前年比173.4%)

(5) ニューノーマル時代に相応しい新たな取組として、「インターネットセミナー（セミナー動画配信）」や「電話対応コンクール競技模様の配信」を行いました。

①インターネットセミナー（600種類以上のセミナー動画コンテンツ配信）

※2020.8.1～配信開始（会員無料）、2023年度も継続提供中

・2022年度累計視聴回数 4,828回（前年度比▲22.6%）

〃 視聴セミナー数 1,019回（前年度比106.4%）

〃 セッションID数 1,740回（前年度比102.6%）

②電話対応コンクール競技模様配信

・11/18開催「全国大会」（本部HPライブ配信）

〔第2号議案〕

2022年度 収支決算報告書（筑後地区協会）

科目コード	勘定科目	2022予算額(1)	2022決算額(2)	差異(2)-(1)	記 事
【収入の部】					
511	受取会費	820,000	787,800	△ 32,200	○協会年会費収入 *会員減に伴う収入減
521	事業収益	20,000	21,592	1,592	
521-300	電話応対競技会収益	0	0	0	
521-315	セミナー等収益（公1）	20,000	21,592	1,592	
521-316	セミナー等収益（公2）	0	0	0	
521-317	セミナー等収益（その他）	0	0	0	
521-320	電話応対技能検定収益	0	0	0	
521-380	事業共通収益（公1）	0	0	0	
521-381	事業共通収益（公2）	0	0	0	
521-382	事業共通収益（公3）	0	0	0	
535	雑収益	0	1	1	
561	内部取引収益	0	0	0	
経常収益計(A)		840,000	809,393	△ 30,607	
【費用の部】					
621	事業費	450,000	489,719	39,719	
621-500	電話応対競技費	30,000	0	△ 30,000	○電話応対コンクール関連費用 *福岡予選同時開催による費用減
621-515	セミナー等費（公1）	270,000	241,731	△ 28,269	○テレコミュニケーション教育事業 （研修/セミナー等） *実施回数減に伴う費用減
621-516	セミナー等費（公2）	0	0	0	
621-517	セミナー等費（その他）	0	150,378	150,378	○講演会関連費用 *開催に伴う費用増
621-520	電話応対技能検定費	0	0	0	
621-540	施設見学会費	0	0	0	
621-555	組織強化費	150,000	97,610	△ 52,390	○会員サービス事業
641	管理費	210,000	176,684	△ 33,316	
641-600	会議費	200,000	141,968	△ 58,032	○理事会費用等
641-620	諸経費	10,000	34,716	24,716	
641-630	減価償却費	0	0	0	
661	内部取引費用	180,000	57,578	△ 122,422	○消費税分担金
経常費用計(B)		840,000	723,981	△ 116,019	
当期経常増減額(A)-(B)		0	85,412	85,412	
一般正味財産期首残高		1,588,702	1,588,702	0	
一般正味財産期末残高		1,588,702	1,674,114	85,412	

(公財) 日本電信電話ユーザ協会
筑後地区協会
会長 本村 康人 殿

2022年度 地区 監査 報告

2022年度(公財)日本電信電話ユーザ協会筑後地区協会の決算にあたり、事業活動及び収支決算について会計監査を実施した結果、収支決算報告書を含め相違なく、証票類も適正かつ正確であったことをここに報告いたします。


2023年 6月 22日

(公財) 日本電信電話ユーザ協会筑後地区協会

地区監事 (株) 筑邦銀行

丹羽哲郎 

地区監事 田中藍(株)

重松護 

2023年度事業活動計画(案)について

公益財団法人として世の中の期待に応えられるよう、2023年度も「ICT活用推進事業」、「テレコミュニケーション教育事業」を2本柱とし、「会員増強推進施策」、「協会活動の活性化」を、それぞれ連動性を持たせ、相乗効果を生み出すよう、本部・支部・地区協会が連携を図りながら展開していくこととします。

また、会員はもとより、不特定多数の方に事業を活用いただけるようこれまで以上に商工会議所との連携を一層強化し、今後の経済動向を踏まえ、課題解決に役立つセミナー等を開催します。

1. 基本方針

(1) 定款及び理事長が定める経営の基本方針に基づき、情報通信の利用者対象の法人として、情報通信技術・サービスを利用したコミュニケーション文化の振興を図るとともに、利用者の利便向上と地域社会の発展に貢献するための事業を展開していきます。

- ・ ICT活用推進事業については、会員及び情報通信サービス利用者のニーズに応える新たなコンテンツを盛り込んだ、ICTセミナーや講習会を開催します。
- ・ テレコミュニケーション教育事業については、電話対応コンクール、企業電話対応コンテスト、電話対応技能検定、各種研修等、電話対応技能向上に資する有益な事業となるよう内容の充実に取り組み、新たな参加見込事業所の勧奨等、更なる参加者の拡大に取り組みます。

(2) 事業の展開にあたっては、「ウィズコロナ」「アフターコロナ」に対応した新たな取り組みを模索しながら協会事業の更なる活性化を推進いたします。具体的には「オンラインセミナー」や「eラーニングサービス」等のリモート参加ができる環境を整備するとともに、会員及び情報通信サービス利用者へリアルタイムにお役立ていただける事業を実施します。

また、公益財団法人として、不特定多数の方の利益増進に寄与することを念頭に、情報通信利用者の意向を踏まえつつ、活用いただける施策を、支部・本部と連携を図り展開していきます。

更には、商工会議所、地方公共団体、教育機関、マスコミ機関、情報通信事業者及びそのグループ会社とも必要な連携を図りながら、効果的・効率的事業活動を展開していきます。

(3) 2022年度も、全国的に会員減少の傾向となりましたが、協会事業の魅力度向上に向けた諸施策を推進し、事業への参加者拡大に積極的に取り組み、新規会員獲得と退会抑制に努めていきます。

2. 事業活動について

【ICT関連施策】

- (1) 2022年度に引き続き中小企業様向けに「DX（デジタルトランスフォーメーション）導入・活用推進」、「サイバーセキュリティ対策」、「SDGsの推進」等、皆様の事業運営にお役立ていただけるような最新情報や事例をテーマに、オンライン又は集合方式セミナーにより実施して参ります。
- (2) 会員サービスとして提供中の「eラーニングサービス」（2023.6現在49講座）は、リモート学習ができるため、時間の制約や遠隔地等の理由でセミナーに参加できない方にもご利用いただけるよう、更にコンテンツを拡充し、会員満足度の向上並びに新規会員拡大に繋げていきます。
- (3) 標的型攻撃メール予防訓練については、サイバー攻撃がますます身近に起こりうる脅威となっていることから、継続して提供してまいります。
- (4) ICTに関する情報発信については、最新情報を広く発信する情報誌「テレコム・フォーラム」（全国4万部発行）を中心とし、本部ホームページでICT導入事例等を提供してまいります。

【テレコミュニケーション教育・研修活動】

- (1) 事業所の顧客満足経営を支援する目的で実施している「電話対応コンクール」は、全国大会優勝者に総務大臣表彰が与えられるなど社会的意義がますます高まっており、今年度も協会のメイン事業として、より多くの企業・事業者に参加いただけるように、広く参加を呼びかけて開催します。

加えて、顧客満足経営の指標ともなる受付窓口の電話対応を診断する「企業電話対応コンテスト」への参加拡大を働きかけます。

- (2) 事業所向けの電話対応・接客研修として、新入社員向けビジネスマナー・電話対応研修、電話対応指導者向けのクレーム電話対応研修等を実施するほか、職場リーダーのスキルアップ研修を開催します。
- (3) 「電話対応技能検定（もしもし検定）」の検定試験実施機関として、今年度も、3級・2級・1級の受験講座及び検定試験（筆記試験、実技試験）、4級検定試験（事前研修無し、筆記試験のみ）を実施します。
なお、4級検定試験の受験拡大に向け、事業所に提案活動を実施するとともに、団体で受験を希望される場合は、出張検定試験にも対応していくこととします。
また、更なる効率化を図るため福岡ロケを拠点に九州管内の実技検定（対応録音）をリモート実施いたします。

3. 協会活動の活性化

【会員増強と会員サービスの充実】

協会事業に参画並びに賛同いただける会員の新規獲得を図るためオンライン又はハイブリッド方式による人材教育の推進を図ります。会員サービスとして提供中の「eラーニングサービス」「オンラインセミナー」活用による入会促進を行います。また、他の会員サービスについても、引き続き魅力のあるラインナップに拡充を図り、会員のみならず非会員の皆様へも幅広くアピールを行います。

具体的には、別表により事業展開を推進していくこととします。

(1) 会員サービスの更なる拡充

(2023年度提供予定の会員サービス)

- ① 「eラーニングサービス」(11回/年実施 49講座 継続提供中)
- ② 「セミナーオンデマンド」(無料年間視聴可 725講座 継続提供中)
- ③ 「標的型攻撃メール予防訓練サービス」(11回/年実施 継続提供中)
- ④ 福岡支部ホームページの活用により、支部・地区協会の事業のご案内、活動報告等を実施します。

(2) 各種事業展開においては、会員の声(ご意見)を積極的に把握し、今後の事業の企画内容にリアルタイムに反映することで事業の魅力度を高め、参加拡大を図っていくこととします。

また、SNS、TV、新聞へ積極的に協会事業に関わる情報を提供するとともに、各種団体・企業等への事業参加提案活動を行うこととします。

(3) 新春トップセミナー等の、特別講演会等で会員の皆様との交流機会を可能な範囲で設定し、会員親睦を図ることとします。

(4) NTT西日本及びグループ会社との連携を図り、情報通信利用者及び会員へのサービス向上施策展開に努めます。

〔第3号議案一別表〕

2023年度筑後地区協会事業活動計画(案)

事業項目	事業施策	実施計画内容			
			実施時期	開催方法・場所等	
テレコミュニケーション教育事業	電話応対コンクール	・一次予選(録音審査) ・二次予選(集合大会) 福岡/筑後地区/北九州地区合同 ・福岡県大会(集合大会) ・全国大会(集合大会)	6/15~6/22 8/22(火) 9/21(木) 10/20(金)	リモート競技録音審査(電話) 福岡商工会議所(集合) ANAクラウンプラザホテル(集合) 札幌文化芸術劇場(集合)	
	企業電話応対コンテスト	・申込期間 ・審査 ・表彰/成績発表	5/1~7/20 7下~9月上 10/20(金)	遠隔録音審査(電話)	
	電話応対技能検定	・4級検定 ・3級検定 ・2級検定 ・1級検定	毎月(第1水曜) 奇数月(第1水曜) 6/10/12月(第1水曜) 4/8/2月(第1水曜)	福岡、筑後、北九州 *受験者数により出張検定等随時実施予定	
	新入社員/ビジネスマナー等研修	・ビジネスマナーアップセミナー 〈大牟田商工会議所共催〉		4/5	集合形式
		・ビジネスマナーセミナー 〈筑後商工会議所共催〉		4/26	集合形式
		・接遇対応セミナー(基礎編) 〈久留米商工会議所共催〉		7/18	集合形式
		・接遇対応セミナー(応用編) 〈久留米商工会議所共催〉		11月予定	集合形式
		・電話応対・ビジネスマナー研修 〈新人~中堅社員〉(支部・地区共催)		2月中旬予定	オンライン研修(Teams)
		・クレーム対応研修 初級・上級 〈一般社員・管理者〉(支部・地区共催)		2月下旬予定	オンライン研修(Teams)
	電話応対研修	・電話応対コンクール・チャレンジセミナー (コンクール出場者・指導者)		4/25	オンライン研修(Teams)
		・チャレンジセミナー録画動画再配信 (コンクール出場者)		5/8~6/30	YouTube録画配信
		・電話応対コンクール・フォローアップ研修 (コンクール出場者・指導者)		5/23、5/26	オンライン研修(Teams)
		・電話応対技能検定3級講座 ・電話応対技能検定2級講座 ・電話応対技能検定1級講座		6月、10月、2月 5月、11月 1月	集合方式
	ICT活用推進事業	ICT活用セミナー	・オンラインセミナーテーマ(予定) ①デジタルトランスフォーメーション(DX)推進 ②情報セキュリティ対策・BCP等 ③SDGs ④その他ICT全般		随時実施 (商工会議所/NIT等共催)
・ビジネスメールの基本 〈一般社員・営業職〉(支部・地区共催)				3月下旬予定	オンライン研修(Teams)
会員サービス	標的型攻撃メール予防訓練(無料)	・提供対象:会員企業 ・エントリー方式(10ID/事業所)		4月~毎月申込受付中 年11回実施	全国(web申込)
	eラーニング研修(無料) ・49講座	・提供対象:会員企業 ・エントリー方式(20ID/事業所)		4月~毎月申込受付中 随時実施	全国(web申込)
	セミナーオンデマンド (無料) ・725コンテンツ提供	・提供対象:会員企業 ・インターネット視聴(無制限)		年間無料視聴可 申込受付中	福岡支部限定(web申込)
	ホームページ	・ICT活用事例情報発信 ・研修/イベント情報の告知		毎月更新	全国
	情報誌発行	・テレコムフォーラム ・イベント/研修案内チラシ同梱		毎月発行	全国
会員交流	新春トップセミナー	・蝶花楼桃花師匠講演会 ・桂二薬師匠講演会	北九州 1/15 福岡 1/29	リーガロイヤルホテル小倉(集合) ホテルオークラ福岡(集合)	
役員会議等	理事会	・福岡支部	7月27日(木)	ニューオータニ博多	
		・福岡地区	7月27日(木)	ニューオータニ博多	
		・筑後地区	7月14日(金)	萃香園ホテル	
		・北九州地区	7月7日(金)	リーガロイヤルホテル小倉	

〔第4号議案〕

2023年度収支予算（案）

	科目名	2023年度予算額(1)	2022年度予算額(2)	差異(1)-(2)	記 事
【収入の部】					
511	受取会費	790,000	820,000	△ 30,000	○協会年会費収入 *会員数維持確保により前年度実績並みを計上
521	事業収益	30,000	20,000	10,000	
521-300	電話応対競技会収益	0	0	0	
521-310	会報等発行収益	0	0	0	
521-315	セミナー等収益（公1）	30,000	20,000	10,000	○テレコミュニケーション教育研修・セミナー
521-316	セミナー等収益（公2）	0	0	0	
521-317	セミナー等収益（その他）	0	0	0	
521-320	電話応対技能検定収益	0	0	0	
521-330	ネット情報提供収益	0	0	0	
521-335	ユーザ意見交換会収益	0	0	0	
521-340	施設見学会収益	0	0	0	
521-360	情報誌出版収益	0	0	0	
535	雑収益	0	0	0	
561	内部取引収益	0	0	0	
経常収益計(A)		820,000	840,000	△ 20,000	
【費用の部】					
621	事業費	570,000	450,000	120,000	公益目的事業比率：70%以上を確保
621-500	電話応対競技費	0	30,000	△ 30,000	
621-510	会報等発行費	0	0	0	
621-515	セミナー等費（公1）	250,000	270,000	△ 20,000	○電話応対/ビジネスマナー研修等費用 *前年度実績並みを計上
621-516	セミナー等費（公2）	0	0	0	
621-517	セミナー等費（その他）	160,000	0	160,000	○講演会費用 *前年度実績並みを計上
621-520	電話応対技能検定費	0	0	0	
621-530	ネット情報提供費	0	0	0	
621-535	ユーザ意見交換会費	0	0	0	
621-540	施設見学会費	0	0	0	
621-555	組織強化費	160,000	150,000	10,000	
641	管理費	190,000	210,000	△ 20,000	
641-600	会議費	150,000	200,000	△ 50,000	○理事会会場費等 *前年度実績並みを計上
641-620	諸経費	40,000	10,000	30,000	
661	内部取引費用	60,000	180,000	△ 120,000	○消費全分担費用等 *前年度実績並みを計上
経常費用計(B)		820,000	840,000	△ 20,000	
当期経常増減額(A)-(B)		0	0	0	
一般正味財産期首残高		1,674,114	1,588,702	85,412	
一般正味財産期末残高		1,674,114	1,588,702	85,412	

〔第5号議案〕

当期において、任期途中での異動に伴い、下表の新任者を選任のこととします。

2023年度（公財）日本電信電話ユーザ協会筑後地区協会役員名簿（敬称略）

役 職	氏 名	所属組織及び役職	記 事
地区会長	本村 康人	久留米商工会議所 会頭	
地区副会長	大隈 晴明	朝倉商工会議所 会頭	
地区副会長	堤 豊仁	うきは市商工会 会長	
地区副会長	玉木 康裕	筑後商工会議所 会頭	
地区副会長	諸富 一文	八女商工会議所 会頭	新任
地区副会長	津村 洋一郎	大川商工会議所 会頭	
地区副会長	荻島 清	柳川商工会議所 会頭	
地区副会長	熊川 博基	みやま市商工会 会長	
地区副会長	板床 定男	大牟田商工会議所 会頭	
地区理事	穴見 英三	久留米商工会議所 専務理事	
地区理事	大淵 工	(株)ムーンスター 総務部長	新任
地区理事	成松 淳	(株)福岡銀行県南地区本部 副本部長	
地区理事	家永 光啓	久留米市農業協同組合 代表理事専務	
地区理事	窪山 金吾	筑前あさくら農業協同組合 代表理事組合長	
地区理事	北島 一雄	筑後市役所 副市長	
地区理事	田淵 隆夫	ラサ工業(株)羽犬塚工場 工場長	
地区理事	橋村 芳隆	田主丸町商工会 会長	
地区理事	松崎 博文	八女市商工会 会長	
地区理事	野中 公彦	福岡八女農業協同組合 代表理事組合長	
地区理事	橋本 浩一	大川市役所 副市長	
地区理事	高場 保信	(協) 大川家具商業会 代表理事会長	
地区理事	中川 貴臣	柳川市商工会 会長	
地区理事	近藤 純久	大木町商工会 会長	
地区理事	稲田 秀成	(株)いなだ豆 代表取締役社長	
地区理事	西尾 圭介	(株)エヌシーみいけ 代表取締役社長	
地区監事	丹羽 哲郎	(株)筑邦銀行 企画グループ グループ長代理	
地区監事	重松 護	田中藍(株) 人事総務部 総務グループ グループリーダー	
地区顧問	西田 英夫	西日本電信電話株式会社 久留米営業所長	

- ・ 当期任期は 2022 年 7 月理事会～2024 年 7 月理事会（2 年間）となります。
- ・ 任期につきましては、再任は妨げないこととします。

